



# Google Cloud Storageのドキュメント

## Google Cloud Storage

NetApp  
October 08, 2023

# 目次

Google Cloud Storageのドキュメント	1
BlueXPのGoogle Cloud Storageの新機能	2
2023年7月10日	2
はじめに	3
Google Cloud Storageバケットを表示します	3
Google Cloud Storageバケットを管理します	5
Google Cloud Storageバケットを追加します	5
Google Cloud Storageバケット設定を変更します	8
Google Cloud StorageバケットでNetAppデータサービスを使用	9
知識とサポート	11
サポートに登録します	11
ヘルプを表示します	15
法的通知	22
著作権	22
商標	22
特許	22
プライバシーポリシー	22
オープンソース	22

# Google Cloud Storageのドキュメント

# BlueXPのGoogle Cloud Storageの新機能

BlueXPのGoogle Cloud Storageの新機能をご紹介します。

**2023年7月10日**

**BlueXPから新しいバケットを追加したり、既存のバケットを管理したりできます**

BlueXPキャンバスでGoogle Cloud Storageのバケットを表示できるようになりました。BlueXPから直接、新しいバケットを追加したり、既存のバケットのプロパティを変更したりできるようになりました。 ["新しいGoogle Cloud Storageバケットを追加する方法をご覧ください"](#)。

# はじめに

## Google Cloud Storageバケットを表示します

Google CloudにConnectorをインストールすると、BlueXPは、ConnectorがインストールされているGoogleアカウントにあるGoogle Cloud Storageバケットに関する情報を自動的に検出できます。Google Cloud Storage作業環境がCanvasに追加され、この情報を表示できます。

Google Cloud Storageバケットの場所、アクセスステータス、ストレージクラス、合計容量と使用済み容量などの詳細を確認できます。これらのバケットは、BlueXPのバックアップとリカバリ、BlueXPの階層化、BlueXPのコピーと同期の処理のデスティネーションとして使用できます。

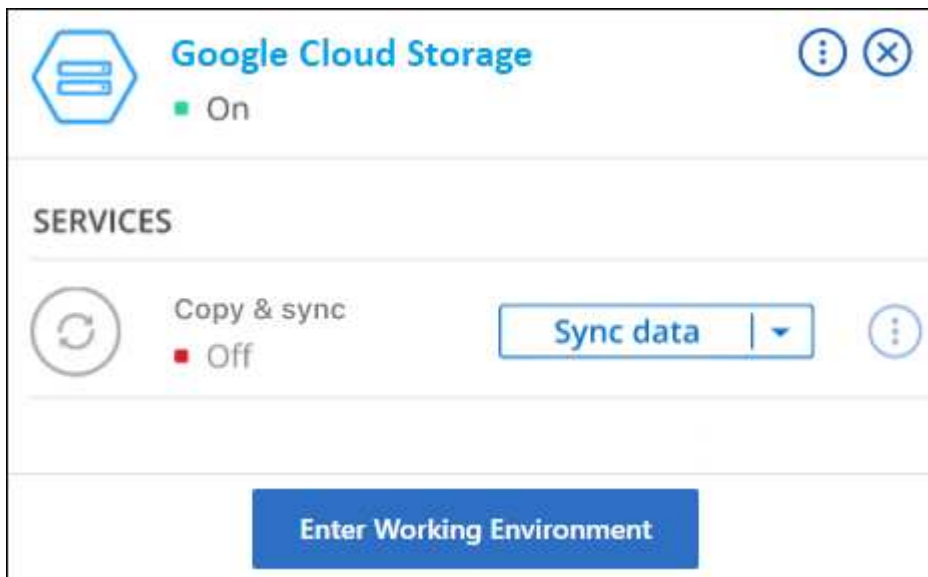
### 手順

1. "コネクタを取り付ける" Google Cloud Storageバケットを表示するGoogleアカウント。
2. ナビゲーションメニューから、\*ストレージ>キャンバス\*を選択します。

しばらくすると、Google Cloud Storageの作業環境が自動的に表示されます。

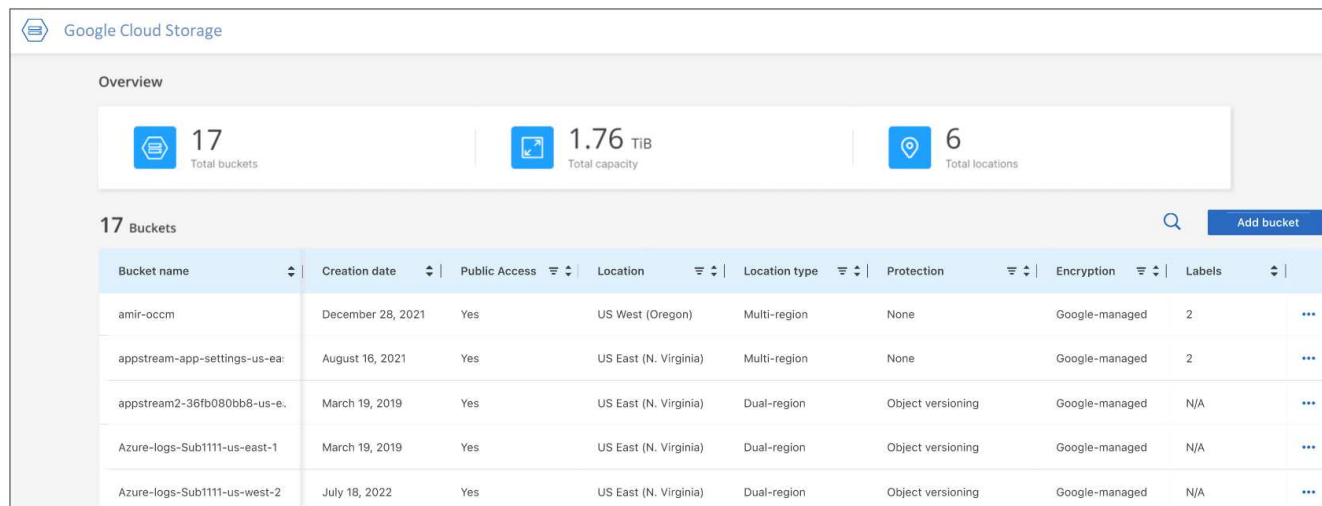


3. Google Cloud StorageでBlueXPサービスを有効にする場合は、作業環境を選択し、右側のペインから操作を選択します。



"利用可能なBlueXPサービスを確認し、Google Cloud Storageバケットでそれらのサービスを使用する方法を確認します"。

4. Googleアカウント内のバケットに関する詳細を表示するには、\*[Enter Working Environment]\*を選択するか、作業環境をダブルクリックします。



The screenshot shows the Google Cloud Storage 'Overview' page. At the top, there are three summary cards: '17 Total buckets', '1.76 TiB Total capacity', and '6 Total locations'. Below this is a table of 17 buckets. The table has columns for Bucket name, Creation date, Public Access, Location, Location type, Protection, Encryption, and Labels. The first five rows are visible, showing various bucket names and their configurations.

Bucket name	Creation date	Public Access	Location	Location type	Protection	Encryption	Labels
amir-occm	December 28, 2021	Yes	US West (Oregon)	Multi-region	None	Google-managed	2
appstream-app-settings-us-ea	August 16, 2021	Yes	US East (N. Virginia)	Multi-region	None	Google-managed	2
appstream2-36fb080bb8-us-e	March 19, 2019	Yes	US East (N. Virginia)	Dual-region	Object versioning	Google-managed	N/A
Azure-logs-Sub1111-us-east-1	March 19, 2019	Yes	US East (N. Virginia)	Dual-region	Object versioning	Google-managed	N/A
Azure-logs-Sub1111-us-west-2	July 18, 2022	Yes	US East (N. Virginia)	Dual-region	Object versioning	Google-managed	N/A

デフォルトで表示される列に加えて、ページをスクロールしてバケットのその他のプロパティ（ラベルの数、有効になっている暗号化のタイプなど）を表示できます。

#### 次のステップ

一部のバケット設定は、をクリックしてBlueXPから直接変更できます ... バケツのために。"詳細については、こちらをご覧ください"。

新しいバケットを追加するには、\*[Add bucket]\*をクリックします。"詳細については、こちらをご覧ください"。

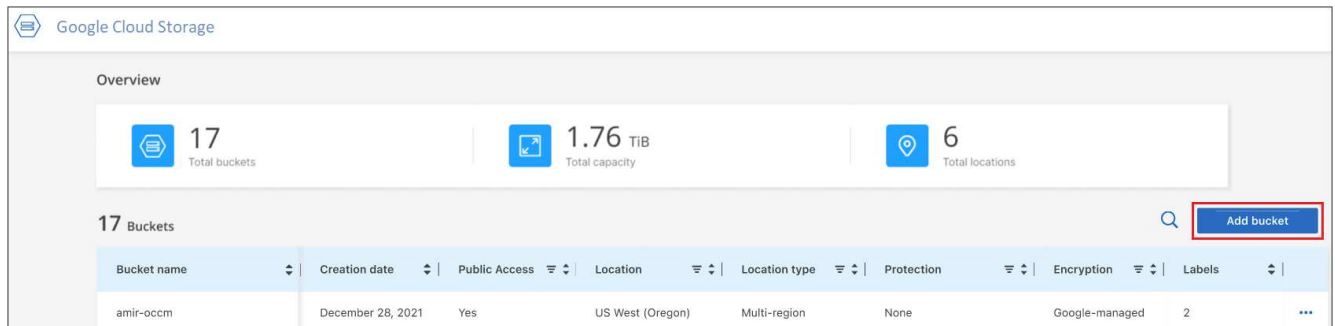
# Google Cloud Storageバケットを管理します

## Google Cloud Storageバケットを追加します

Google Cloud Storageの作業環境がキャンバスに表示されたら、BlueXPから直接バケットを追加できます。

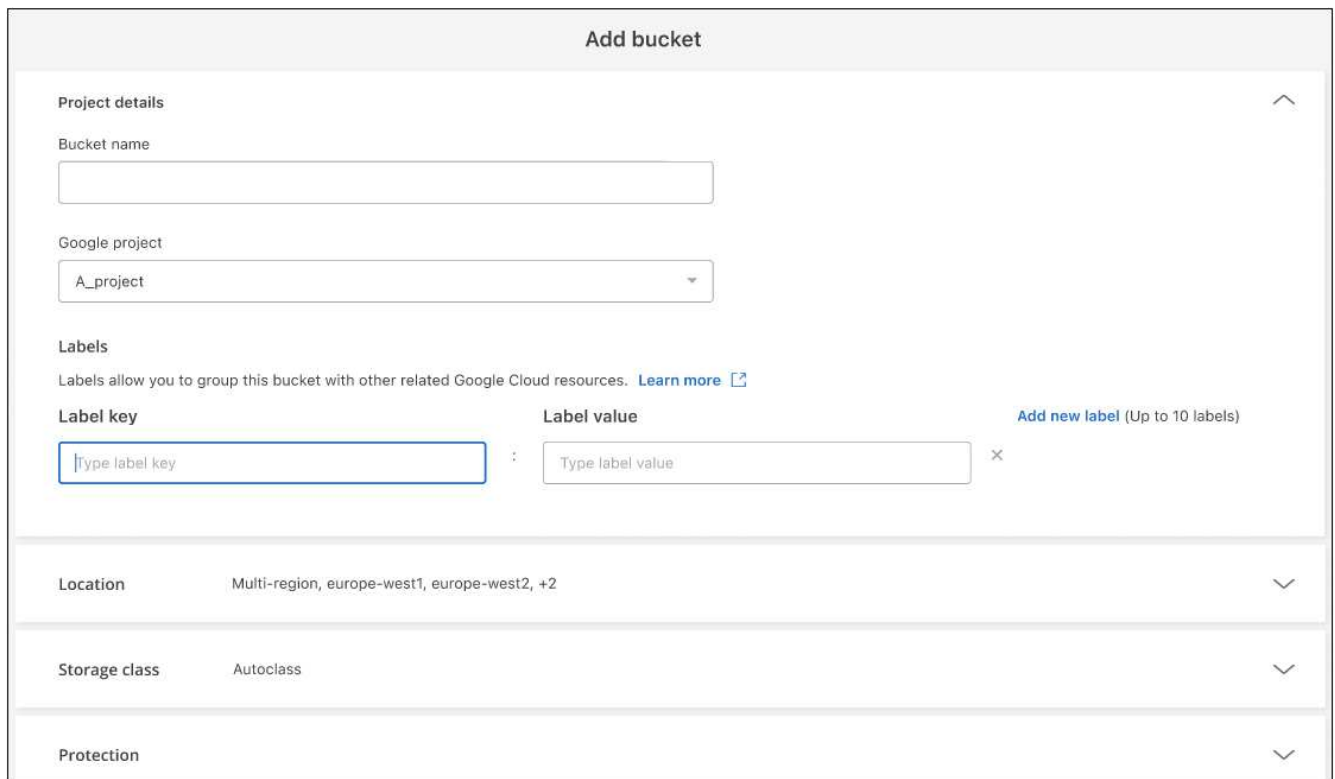
手順

1. キャンバスで、Google Cloud Storage作業環境をダブルクリックしてGoogle Cloud Storage Buckets Overviewページを表示し、\* Add bucket \*をクリックします。



ボタンの詳細を示すスクリーンショット。"]

\_Add bucket\_pageが表示されます。



ページのスクリーンショット。"]

2. [Project details]セクションに必要な情報を入力します。

フィールド	説明
バケット名	バケットに使用する名前を入力します。" <a href="#">命名要件については、Google Cloudのドキュメントを参照してください</a> "。
Googleプロジェクト	<p>バケットの所有者になるGoogleプロジェクトを選択します。これは、コネクタがデプロイされたプライマリプロジェクトでも、別のプロジェクトでもかまいません。</p> <p>ドロップダウンリストに他のプロジェクトが表示されない場合は、まだBlueXPサービスアカウントを他のプロジェクトに関連付けていません。Google Cloud コンソールに移動し、IAM サービスを開き、プロジェクトを選択します。BlueXPロールを持つサービスアカウントをそのプロジェクトに追加しますプロジェクトごとにこの手順を繰り返す必要があります。</p> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-top: 10px;">  <p>これは、BlueXP用に設定したサービスアカウントです。"<a href="#">このページで説明されているように</a>"。</p> </div>
ラベル	<p>ラベルは、Google Cloudリソースのメタデータです。バケットを作成するときは、ラベルキーと値のペアを10個まで追加できます。</p> <p>"<a href="#">ラベルの詳細については、Google Cloudのドキュメントを参照してください</a>"。</p>

3. [Location]セクションで、バケットを作成する場所のタイプとリージョン（複数可）を選択します。3種類の場所から選択できます。

[場所の種類]を選択した場合	選択する項目
地域	[Available regions]フィールドの1つのリージョン。
デュアルリージョン	<p>「利用可能な地域」フィールドから地理的な場所(単一の大陸)を選択し、「利用可能な地域」フィールドで2つの地域を選択します。</p> <p>ターゲット15分以内に新しく書き込まれるすべてのオブジェクトに対して地理的冗長性を保証する場合は、「ターボレプリケーション」を有効にすることができます。</p>
マルチリージョン	[Available multi-regions]フィールドの地理的マルチリージョン。

Cloud Storageのすべてのデータは、アップロード後すぐに、少なくとも1つの地理的な場所内の少なくとも2つのゾーンにまたがって冗長化されることに注意してください。"[バケットの場所の詳細については、Google Cloudのドキュメントを参照してください](#)"。

4. [Storage class\_]セクションで、バケット内のオブジェクトに使用するストレージクラスを選択します。4つのストレージクラスから選択することも、\_Autoclass\_を選択してGoogleが必要に応じてクラスを調整することもできます。

ストレージクラス	説明
標準	標準ストレージは、頻繁にアクセスされるデータ（「ホット」データ）や短期間だけ保存されるデータに最適です。



ストレージクラス	説明
ニアライン	ニアラインストレージは、アクセス頻度の低いデータを格納するための、低コストで耐久性に優れたストレージサービスです。
コールドライン (Coldline)	Coldlineストレージは、アクセス頻度の低いデータを保存するための、低コストで耐久性に優れたストレージサービスです。
Archive サービスの略	アーカイブストレージは、データアーカイブ、オンラインバックアップ、ディザスタリカバリのための、低コストで耐久性に優れたストレージサービスです。
オートクラス	Autoclassは、各オブジェクトのアクセスパターンに基づいて、バケット内のオブジェクトを適切なストレージクラスに自動的に移行します。

コストと取得料金はストレージクラスごとに異なります。"[ストレージクラスの詳細については、Google Cloudのドキュメントを参照してください](#)"。

5. [Protection]セクションで、データ保護ツールを使用してバケット内のオブジェクトを保護するか、データ暗号化設定を使用してデータへのアクセスを保護するかを選択します。

データ保護	説明
なし	デフォルトでは、バケットで保護ツールは有効になっていません。
オブジェクトのバージョン管理	<p>ライブオブジェクトバージョンを更新、交換、または削除するたびに、バケットは最新でないオブジェクトバージョンを保持し、オブジェクトの保護バージョンを継続的に維持します。[オブジェクトのバージョン管理 (Object versioning)]を選択すると、次の2つのオプションを指定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>最大オブジェクトあたりのバージョン数-オブジェクトごとに作成される最新でないバージョンの数を入力します。</li> <li>最新でないバージョンを期限切れにする-古い最新でないオブジェクトを削除するまでの日数を入力します。</li> </ul>
保持ポリシー	<p>保持ポリシーを使用すると、バケット内の現在および将来のすべてのオブジェクトが、保持ポリシーで定義した期間に達するまで削除または置き換えられなくなります。[Retention policy]を選択すると、次の2つのオプションを指定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>オブジェクトの保持期間-オブジェクトを保持する秒数、日数、月数、または年数を入力します。</li> <li>期間-時間を秒、日、月、年のいずれかで指定するかを選択します。</li> </ul>

オブジェクトのバージョン管理ツールと保持ポリシー保護ツールを同時に有効にすることはできません。については、Google Cloudのドキュメントを参照してください "[オブジェクトのバージョン管理の詳細](#)"および "[保持ポリシーの詳細](#)"。

データ暗号化	説明
Googleが管理する暗号化キー	デフォルトでは、Googleが管理する暗号化キーがデータの暗号化に使用されます。

データ暗号化	説明
お客様が管理する暗号化キー (CMEK)	<p>Googleが管理するデフォルトの暗号化キーを使用する代わりに、お客様が管理する独自のキーを使用してデータを暗号化できます。独自の顧客管理キーを使用する場合は、このページでキーを選択できるように、それらのキーを作成しておく必要があります。</p> <p>キーはバケットと同じプロジェクトに含めることも、別のプロジェクトを選択することもできます。</p>

については、Google Cloudのドキュメントを参照してください "[Googleが管理する暗号化キーの詳細については、こちらを参照してください](#)"および "[お客様が管理する暗号化キーの詳細については、こちらを参照してください](#)".

6. [追加]\*をクリックすると、バケットが作成されます。

## Google Cloud Storageバケット設定を変更します

Google Cloud Storageの作業環境がCanvasで利用できるようになったら、一部のバケットプロパティをBlueXPから直接変更できます。

バケット名、Googleプロジェクト、または保護設定は変更できません。

次のバケットプロパティを変更できます。

- バケット内の以降のすべてのオブジェクト用のストレージクラス。
- バケット内のオブジェクトに対してラベルを追加、編集、削除することができます。
- ターボレプリケーションモード-バケットがデュアルリージョンの場所にある場合のみ。

これらのバケット設定は、をクリックしてBlueXPから直接変更できます **...** > \*バケットの詳細を編集\*。

The screenshot displays the 'Overview' section of the Google Cloud Storage interface. It features three summary cards: '158 Total buckets', '3.55 TiB Total capacity', and '18 Total locations'. Below these is a 'Buckets (55)' section with a search bar and an 'Add bucket' button. A table lists several buckets with columns for 'Bucket name', 'Creation date', 'Public Access', 'Location', 'Location type', 'Protection', 'Encryption', and 'Labels'. The 'Labels' column for the first bucket, 'allenc-demo-tlveng', shows the number '2' and a three-dot menu icon. A red box highlights this menu icon, and a tooltip menu is shown with options: 'Edit bucket details', 'Edit labels', 'Edit location', and 'Edit storage class'.

ボタンを選択してバケットのプロパティを編集する方法を示すスクリーンショット。"]

## ストレージクラスを変更します

[ストレージクラス]セクションでは、特定の変更のみを行うことができます。

- バケットの作成時に `_Autoclass_` を選択した場合は、オートクラスを無効にして別のストレージクラスを選択できます。
- バケットの作成時に他のストレージクラスが選択されていた場合は、 `_Autoclass_` を除く他のストレージクラスに変更できます。

別のクラスにあったオブジェクトはそのクラスに残りますが、新しいオブジェクトは新しいクラス設定を使用します。

## バケット内のオブジェクトのラベルを追加または変更します

ラベルは、リソースをグループ化してアプリケーション、環境、リージョン、クラウドプロバイダなどを識別するためのメタデータです。ラベルはキーと値で構成されます。バケットにラベルを追加して、オブジェクトがバケットに追加されたときにラベルが適用されるようにすることができます。ラベルおよびラベル値を変更および削除することもできます。

ラベルを追加または編集したら、適用\*をクリックして変更を保存します。ラベルを追加する場合は、[新しいラベルの追加]\*をクリックします。バケットごとに最大10個のラベルを追加できます。

## デュアルリージョンロケーションでターボレプリケーションを有効にするかどうかを変更します

バケットがデュアルリージョンの場所にある場合は、ターボレプリケーションモードを有効または無効にすることができます。「Turbo replication」を使用すると、15分以内に新しく書き込まれたすべてのオブジェクトの地理的冗長性を保証できます。

バケットの作成後は、その他の場所の詳細を変更することはできません。

# Google Cloud StorageバケットでNetAppデータサービスを使用

BlueXPでGoogle Cloud Storageバケットを検出したら、NetAppデータサービスを使用してバックアップ、階層化、データ同期を実行できます。

- BlueXPのバックアップとリカバリ\*を使用して、オンプレミスのONTAPシステムやCloud Volumes ONTAPシステムからGoogle Cloudオブジェクトストレージにデータをバックアップできます。

作業を開始するには、キャンバスに移動し、オンプレミスのONTAPまたはCloud Volumes ONTAP作業環境をGoogle Cloud Storage作業環境にドラッグアンドドロップします。

["ONTAPデータをGoogle Cloud Storageにバックアップする方法については、こちらをご覧ください"](#)。

- BlueXP階層化\*を使用して、アクセス頻度の低いデータをオンプレミスのONTAPクラスタからGoogle Cloudオブジェクトストレージに階層化できます。

作業を開始するには、キャンバスに移動し、オンプレミスのONTAP作業環境をGoogle Cloud Storage作業環境にドラッグアンドドロップします。

"ONTAPデータをGoogle Cloud Storageに階層化する方法については、こちらをご覧ください"。

- BlueXPのコピーと同期\*を使用して、Google Cloud Storageバケットとの間でデータを同期します。

作業を開始するには、Canvasに移動し、ソースの作業環境をターゲットの作業環境にドラッグアンドドロップします。Google Cloud Storageの作業環境は、ソースとターゲットのどちらでもかまいません。

Google Cloud Storage作業環境を選択し、[サービス]パネルの\*[コピーと同期]\*をクリックして、Cloud Storageバケットとの間でデータを同期することもできます。

"BlueXPのコピーと同期サービスの詳細については、こちらをご覧ください"。

# 知識とサポート

## サポートに登録します

BlueXPとそのストレージソリューションおよびサービスに固有のテクニカルサポートを受けるには、サポート登録が必要です。Cloud Volumes ONTAPシステムの主要なワークフローを有効にするには、サポート登録も必要です。

サポートに登録しても、クラウドプロバイダのファイルサービスでNetAppのサポートは有効になりません。クラウドプロバイダのファイルサービスとそのインフラ、またはサービスを使用する解決策に関連するテクニカルサポートについては、該当する製品のBlueXPドキュメントの「困ったときは」を参照してください。

- ["ONTAP 対応の Amazon FSX"](#)
- ["Azure NetApp Files の特長"](#)
- ["Cloud Volumes Service for Google Cloud"](#)

## サポート登録の概要

サポート資格を有効にする登録には、次の2つの形式があります。

- BlueXPアカウントIDサポートサブスクリプションの登録(BlueXPの[サポートリソース]ページにある20桁の960xxxxxxxxxシリアル番号)。

これは、BlueXP内のすべてのサービスのシングルサポートサブスクリプションIDとして機能します。各BlueXPアカウントレベルのサポート契約が登録されている必要があります。

- クラウドプロバイダのマーケットプレイスでのサブスクリプションに関連付けられているCloud Volumes ONTAPのシリアル番号を登録している(909201xxxxxxxxのシリアル番号)。

これらのシリアル番号は、通常PAY\_GOシリアル番号と呼ばれ、Cloud Volumes ONTAPの導入時にBlueXPによって生成されます。

両方のタイプのシリアル番号を登録することで、サポートチケットのオープンやケースの自動生成などの機能を利用できます。登録を完了するには、以下の手順でNetApp Support Site (NSS) アカウントをBlueXPに追加してください。

## NetAppサポートにBlueXPアカウントに登録します

サポートに登録してサポート利用資格をアクティブ化するには、BlueXPアカウントの1人のユーザがNetApp Support SiteアカウントをBlueXPログインに関連付ける必要があります。ネットアップサポートへの登録方法は、NetApp Support Site (NSS) アカウントがあるかどうかによって異なります。

### NSSアカウントをお持ちの既存のお客様

NSSアカウントをお持ちのネットアップのお客様は、BlueXPからサポートに登録するだけで済みます。

### 手順

1. BlueXPコンソールの右上で、[設定]アイコンを選択し、\*[クレデンシャル]\*を選択します。

2. [ユーザクレデンシャル]\*を選択します。
3. [NSSクレデンシャルの追加]\*を選択し、NetApp Support Site (NSS) 認証プロンプトに従います。
4. 登録プロセスが正常に完了したことを確認するには、[ヘルプ]アイコンを選択し、\*[サポート]\*を選択します。

[リソース]ページに、アカウントがサポートに登録されていることが表示されます。



他のBlueXPユーザにNetApp Support Siteアカウントが関連付けられていない場合、このサポート登録ステータスは表示されません。ただし、BlueXPアカウントがサポートに登録されていないわけではありません。アカウント内の1人のユーザがこれらの手順を実行している限り、アカウントは登録されています。

### NSSアカウントを持たない既存のお客様

NetAppの既存のお客様で、ライセンスとシリアル番号は\_NO\_NSSアカウントしかお持ちでない場合は、NSSアカウントを作成してBlueXPログインに関連付ける必要があります。

#### 手順

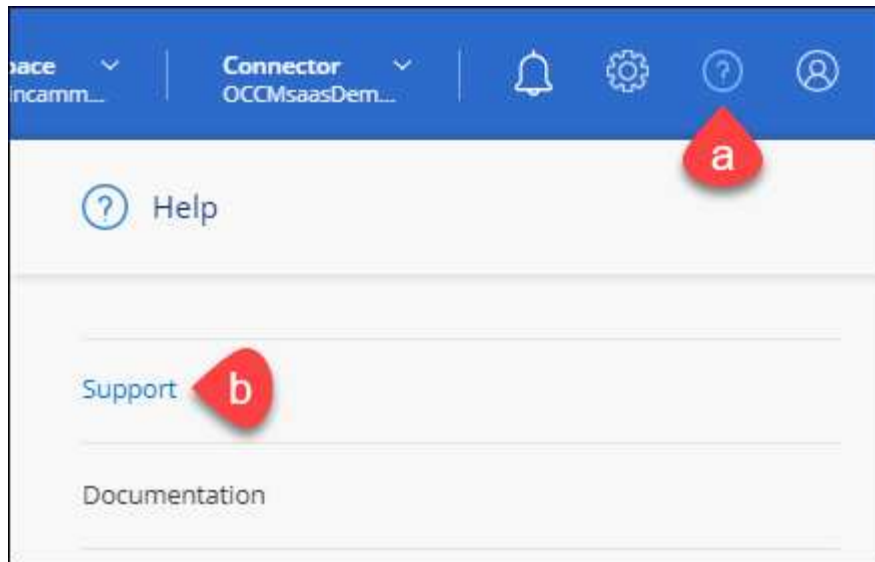
1. を実行してNetApp Support Site アカウントを作成します "[NetApp Support Site ユーザー登録フォーム](#)"
  - a. 適切なユーザレベルを選択してください。通常は\*ネットアップのお客様/エンドユーザ\*がこれに該当します。
  - b. 必ず、上記のシリアル番号フィールドに使用されているBlueXPアカウントのシリアル番号(960xxxx)をコピーしてください。これにより、アカウント処理が高速化されます。
2. の手順を実行して、新しいNSSアカウントをBlueXPログインに関連付けます [NSSアカウントをお持ちの既存のお客様](#)。

### ネットアップのソリューションを初めて導入する場合は

ネットアップ製品を初めてご利用になり、NSSアカウントをお持ちでない場合は、以下の手順に従ってください。

#### 手順

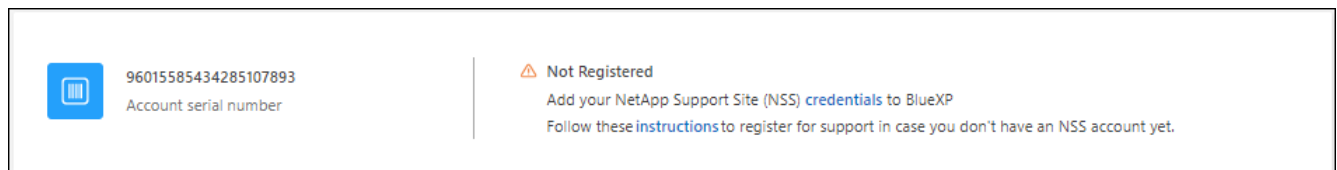
1. BlueXPコンソールの右上で、[ヘルプ]アイコンを選択し、\*[サポート]\*を選択します。



メニューのスクリーンショット

ト。サポートは最初に表示されるオプションです"]

2. サポート登録ページでアカウントIDのシリアル番号を確認します。



メニューのスクリーンショット。サポートは最初に表示されるオプションです"]

3. に移動します "ネットアップサポート登録サイト" 「ネットアップ登録のお客様ではありません」を選択します。
4. 必須フィールドに入力します（赤いアスタリスクのフィールド）。
5. [製品ライン（Product Line）]フィールドで、[ Cloud Manager \*]を選択し、該当する課金プロバイダーを選択します。
6. 上記の手順2からアカウントのシリアル番号をコピーし、セキュリティチェックを完了して、ネットアップのグローバルデータプライバシーポリシーを確認します。

この安全なトランザクションを完了するために、メールボックスに電子メールがすぐに送信されます。確認メールが数分で届かない場合は、必ずスパムフォルダを確認してください。

7. Eメールからアクションを確認します。

確認ではネットアップにリクエストが送信され、NetApp Support Site アカウントを作成することを推奨します。

8. を実行してNetApp Support Site アカウントを作成します "NetApp Support Site ユーザー登録フォーム"
  - a. 適切なユーザレベルを選択してください。通常は\*ネットアップのお客様/エンドユーザ\*がこれに該当します。
  - b. シリアル番号フィールドには、上記のアカウントのシリアル番号（960xxxx）を必ずコピーしてください。これにより、アカウント処理が高速化されます。

完了後

このプロセスについては、ネットアップからご連絡ください。これは、新規ユーザ向けの1回限りのオンボーディング演習です。

NetApp Support Siteアカウントを作成したら、の順序を実行してアカウントをBlueXPログインに関連付けます [NSSアカウントをお持ちの既存のお客様](#)。

## Cloud Volumes ONTAPサポートのためにNSSクレデンシャルを関連付けます

NetApp Support Siteで次の主要なワークフローを有効にするには、BlueXPアカウントにクレデンシャルを関連付ける必要がCloud Volumes ONTAPあります。

- 従量課金制のCloud Volumes ONTAPシステムのサポートを登録しています

お使いのシステムのサポートを有効にし、ネットアップのテクニカルサポートリソースにアクセスするには、NSSアカウントを用意する必要があります。

- お客様所有のライセンスを使用（BYOL）する場合のCloud Volumes ONTAPの導入

ライセンスキーをBlueXPでアップロードし、購入した契約期間のサブスクリプションを有効にするには、NSSアカウントを提供する必要があります。これには、期間の更新の自動更新も含まれます。

- Cloud Volumes ONTAPソフトウェアを最新リリースにアップグレードしています

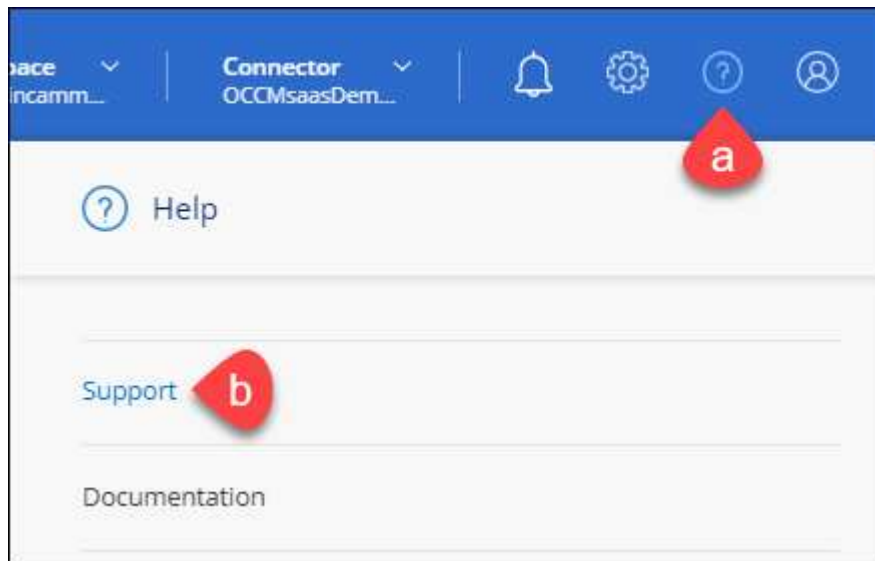
NSSクレデンシャルをBlueXPアカウントに関連付ける方法は、BlueXPユーザログインに関連付けられたNSSアカウントとは異なります。

これらのNSSクレデンシャルは、特定のBlueXPアカウントIDに関連付けられています。BlueXPアカウントに属するユーザは、\*[サポート]>[NSS管理]\*からこれらのクレデンシャルにアクセスできます。

- お客様レベルのアカウントをお持ちの場合は、1つ以上のNSSアカウントを追加することもできます。
- パートナーアカウントまたはリセラーアカウントをお持ちの場合は、1つ以上のNSSアカウントを追加することはできますが、お客様レベルのアカウントと一緒に追加することはできません。

### 手順

1. BlueXPコンソールの右上で、[ヘルプ]アイコンを選択し、\*[サポート]\*を選択します。



メニューのスクリーンショット。



サポートは最初に表示されるオプションです"]

2. [NSS Management]>[Add NSS Account]\*を選択します。
3. プロンプトが表示されたら、\*続行\*を選択してMicrosoftログインページにリダイレクトします。

ネットアップは、サポートとライセンスに固有の認証サービスのアイデンティティプロバイダとしてMicrosoft Azure Active Directory を使用しています。

4. ログインページで、NetApp Support Siteの登録 E メールアドレスとパスワードを入力して認証プロセスを実行します。

これらのアクションにより、BlueXPはライセンスのダウンロード、ソフトウェアのアップグレード検証、および将来のサポート登録などの目的でNSSアカウントを使用できます。

次の点に注意してください。

- NSSアカウントは、お客様レベルのアカウントである必要があります（ゲストアカウントや一時アカウントではありません）。複数のお客様レベルのNSSアカウントを設定できます。
- NSSアカウントがパートナーレベルのアカウントの場合、作成できるNSSアカウントは1つだけです。お客様レベルのNSSアカウントを追加しようとすると、パートナーレベルのアカウントが存在する場合は、次のエラーメッセージが表示されます。

「別のタイプのNSSユーザーがすでに存在するため、このアカウントではNSS顧客タイプは許可されていません。」

既存のお客様レベルのNSSアカウントがあり、パートナーレベルのアカウントを追加しようとする場合も同様です。

- ログインに成功すると、ネットアップはNSSのユーザ名を保存します。

これはシステムによって生成されたIDで、電子メールにマッピングされます。[NSS Management]ページで、から電子メールを表示できます [...](#) メニュー。

- ログイン認証情報トークンを更新する必要がある場合は、の[認証情報の更新\*]オプションも使用できます [...](#) メニュー。

このオプションを使用すると、再度ログインするように求められます。これらのアカウントのトークンは90日後に期限切れになります。このことを通知する通知が投稿されます。

## ヘルプを表示します

ネットアップでは、BlueXPとそのクラウドサービスをさまざまな方法でサポートしています。ナレッジベース（KB）記事やコミュニティフォーラムなど、24時間365日利用可能な幅広いセルフサポートオプションをご用意しています。サポート登録には、Webチケット処理によるリモートテクニカルサポートが含まれます。

### クラウドプロバイダのファイルサービスのサポート

クラウドプロバイダのファイルサービスとそのインフラ、またはサービスを使用する解決策に関連するテクニカルサポートについては、該当する製品のBlueXPドキュメントの「困ったときは」を参照してください。

- ["ONTAP 対応の Amazon FSX"](#)
- ["Azure NetApp Files の特長"](#)
- ["Cloud Volumes Service for Google Cloud"](#)

BlueXPおよびそのストレージソリューションとサービスに固有のテクニカルサポートを受けるには、以下に記載されているサポートオプションを使用してください。

## セルフサポートオプションを使用します

次のオプションは、1日24時間、週7日間無料でご利用いただけます。

- [ドキュメント](#)

現在表示しているBlueXPのマニュアル。

- ["ナレッジベース"](#)

BlueXPナレッジベースで問題のトラブルシューティングに役立つ記事を検索します。

- ["コミュニティ"](#)

BlueXPコミュニティに参加して、進行中のディスカッションをフォローしたり、新しいディスカッションを作成したりできます。

- [mailto : ng-cloudmanager-feedback@netapp.com](mailto:ng-cloudmanager-feedback@netapp.com) [フィードバックメール]

お客様のご意見をお考えください。フィードバックを送信して、BlueXPの改善に役立ててください。

## ネットアップサポートと一緒にケースを作成します

上記のセルフサポートオプションに加え、サポートを有効にしたあとで問題が発生した場合は、ネットアップサポートの担当者と相談して解決できます。

始める前に

- [ケースの作成]\*機能を使用するには、最初にNetApp Support SiteクレデンシャルをBlueXPログインに関連付ける必要があります。 ["BlueXPログインに関連付けられているクレデンシャルの管理方法について説明します"](#)。
- シリアル番号のあるONTAPシステムのケースをオープンする場合は、そのシステムのシリアル番号にNSSアカウントを関連付ける必要があります。

手順

1. BlueXPで、\*[ヘルプ]>[サポート]\*を選択します。
2. **[Resources]**ページで、**[Technical Support]**で次のいずれかのオプションを選択します。
  - a. 電話で誰かと話をしたい場合は、\*[電話]\*を選択します。netapp.comのページに移動し、電話番号が表示されます。
  - b. [ケースの作成]\*を選択して、NetAppサポートスペシャリストとのチケットをオープンします。
    - **Service:**問題 が関連付けられているサービスを選択します。たとえば、サービス内のワークフロ

ーまたは機能を備えたテクニカルサポート問題 に固有のBlueXPなどです。

- 作業環境：ストレージに該当する場合は、\* Cloud Volumes ONTAP \*または\*オンプレミス\*を選択し、関連する作業環境を選択します。


作業環境のリストは、サービスの上部バナーで選択したBlueXPアカウント、ワークスペース、コネクタの範囲内にあります。

- ケース優先度：ケースの優先度を選択します。優先度は、[低]、[中]、[高]、[クリティカル]のいずれかになります。

これらの優先度の詳細を確認するには、フィールド名の横にある情報アイコンの上にマウスポインタを合わせます。

- \*事象の説明\*：実行したエラーメッセージやトラブルシューティング手順など、問題の詳細な概要を入力します。
- その他のメールアドレス：この問題 を他のユーザーに知らせる場合は、追加のメールアドレスを入力します。
- 添付ファイル（オプション）：一度に1つずつ、最大5つの添付ファイルをアップロードできます。


添付ファイルはファイルあたり25 MBに制限されています。サポートされているファイル拡張子は、txt、log、pdf、jpg/jpeg、rtf、doc/docx、xls/xlsx、およびcsv。

ntapitdemo   
NetApp Support Site Account

---

Service Working Environment


Select Select

Case Priority 


Low - General guidance



Issue Description

Provide detailed description of problem, applicable error messages and troubleshooting steps taken.

Additional Email Addresses (Optional) 

Type here

Attachment (Optional) Upload 

No files selected  

完了後

ポップアップにサポートケース番号が表示されます。ネットアップのサポート担当者がケースを確認し、すぐに対応させていただきます。

サポートケースの履歴を確認するには、\*[設定]>[タイムライン]\*を選択し、「サポートケースの作成」というアクションを検索します。右端のボタンをクリックすると、アクションを展開して詳細を表示できます。

ケースを作成しようとする時、次のエラーメッセージが表示される場合があります。

"選択したサービスに対してケースを作成する権限がありません"

このエラーは、NSSアカウントとそれに関連付けられているレコードの会社が、BlueXPアカウントのシリアル番号(例960xxxx) または動作環境のシリアル番号。次のいずれかのオプションを使用して、サポートを受けることができます。

- 製品内のチャットを使用します
- テクニカル以外のケースを送信します <https://mysupport.netapp.com/site/help>

## サポートケースの管理（プレビュー）

アクティブなサポートケースと解決済みのサポートケースは、BlueXPから直接表示および管理できます。NSSアカウントと会社に関連付けられたケースを管理できます。

ケース管理はプレビューとして使用できます。今後のリリースでは、この点をさらに改良し、機能を強化する予定です。製品内のチャットでご意見をお寄せください。

次の点に注意してください。

- ページ上部のケース管理ダッシュボードには、次の2つのビューがあります。
  - 左側のビューには、指定したユーザNSSアカウントによって過去3カ月間にオープンされたケースの総数が表示されます。
  - 右側のビューには、ユーザのNSSアカウントに基づいて、過去3カ月間にオープンしたケースの総数が会社レベルで表示されます。

テーブルの結果には、選択したビューに関連するケースが反映されます。

- 目的の列を追加または削除したり、[優先度]や[ステータス]などの列の内容をフィルタリングしたりできます。他の列には、並べ替え機能だけがあります。

詳細については、以下の手順を参照してください。

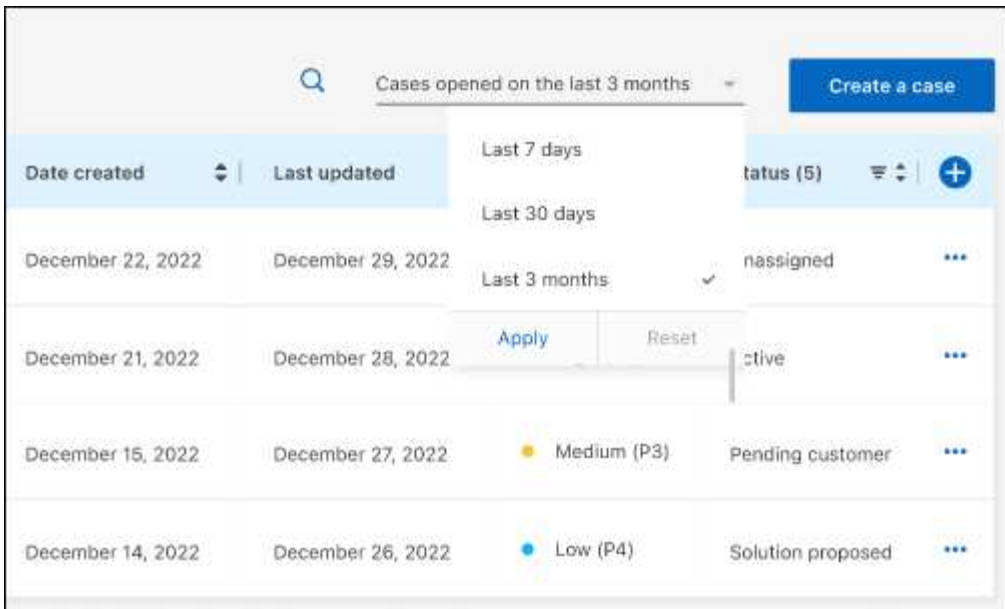
- ケースごとに、ケースノートを更新したり、ステータスが「Closed」または「Pending Closed」でないケースをクローズしたりすることができます。

### 手順

1. BlueXPで、\*[ヘルプ]>[サポート]\*を選択します。
2. [ケース管理]\*を選択し、プロンプトが表示されたらNSSアカウントをBlueXPに追加します。

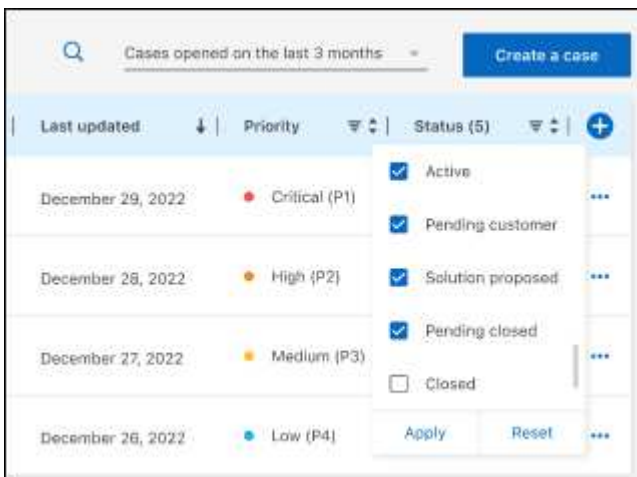
ケース管理\*ページには、BlueXPユーザアカウントに関連付けられたNSSアカウントに関連するオープンケースが表示されます。これは、\*NSS管理\*ページの上部に表示されるNSSアカウントと同じです。

3. 必要に応じて、テーブルに表示される情報を変更します。
  - [Organization's Cases]\*で[View]\*を選択すると、会社に関連付けられているすべてのケースが表示されます。
  - 正確な日付範囲を選択するか、別の期間を選択して、日付範囲を変更します。




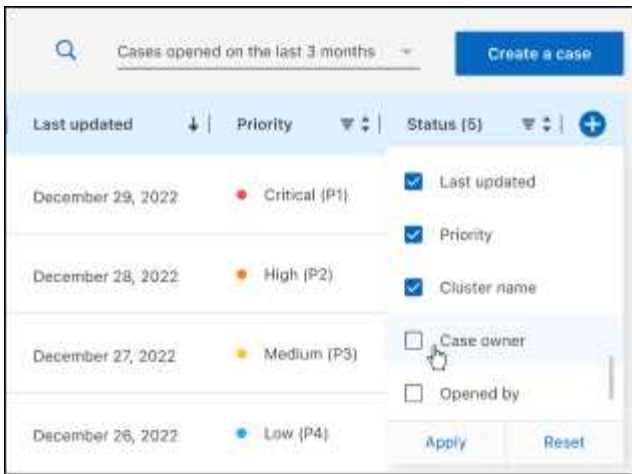
ページのテーブルの上にあるオプションのスクリーンショット。正確な日付範囲、または過去7日、30日、または3か月を選択できます。"]

- 。列の内容をフィルタリングします。



列のフィルタオプションのスクリーンショット。[Active]や[Closed]など、特定のステータスに一致するケースを除外できます。"]

- 。テーブルに表示される列を変更するには、次に、表示する列を選択します。

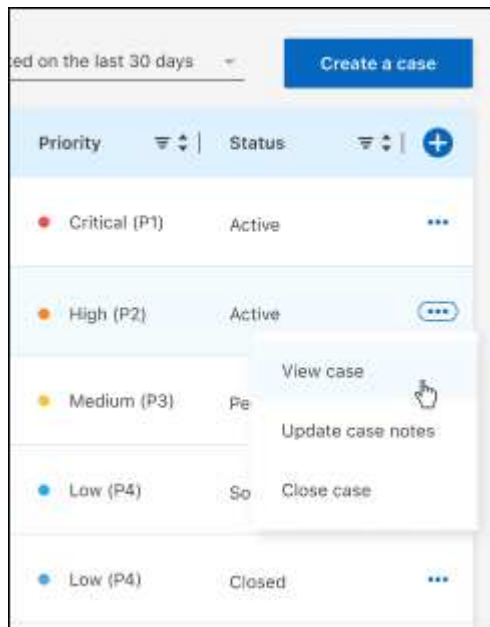


4. 既存のケースを管理するには、... 使用可能なオプションのいずれかを選択します。

- ケースの表示: 特定のケースの詳細を表示します。
- ケースノートの更新: 問題の詳細を入力するか、\*ファイルのアップロード\*を選択して最大5つのファイルを添付します。

添付ファイルはファイルあたり25 MBに制限されています。サポートされているファイル拡張子は、txt、log、pdf、jpg/jpeg、rtf、doc/docx、xls/xlsx、およびcsv。

- ケースをクローズ: ケースをクローズする理由の詳細を入力し、\*ケースをクローズ\*を選択します。



# 法的通知

著作権に関する声明、商標、特許などにアクセスできます。

## 著作権

["https://www.netapp.com/company/legal/copyright/"](https://www.netapp.com/company/legal/copyright/)

## 商標

NetApp、NetApp のロゴ、および NetApp の商標ページに記載されているマークは、NetApp, Inc. の商標です。その他の会社名および製品名は、それぞれの所有者の商標である場合があります。

["https://www.netapp.com/company/legal/trademarks/"](https://www.netapp.com/company/legal/trademarks/)

## 特許

ネットアップが所有する特許の最新リストは、次のサイトで入手できます。

<https://www.netapp.com/pdf.html?item=/media/11887-patentspage.pdf>

## プライバシーポリシー

["https://www.netapp.com/company/legal/privacy-policy/"](https://www.netapp.com/company/legal/privacy-policy/)

## オープンソース

通知ファイルには、ネットアップソフトウェアで使用されるサードパーティの著作権およびライセンスに関する情報が記載されています。

["BlueXPに関する注意事項"](#)



## 著作権に関する情報

Copyright © 2023 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。